

(仮称) 奈良県立特別支援学校移転整備基本計画検討委員会（第1回）議事概要

日 時：令和8年4月27日（月）10：00～12：00

場 所：奈良県庁本庁舎2階 A21会議室

出席委員：山根委員長、中川副委員長、前田委員、住本委員、堀委員、亀谷委員、石岡委員
井上委員、佐々木委員、安田委員、新藤委員

欠席委員：なし

議事1 委員長の選任について

事務局説明	
・設置要綱第5条第2項の規定で委員長を互選により選任することを説明	
主な意見及び質疑応答	
委員	山根委員を推薦する。
委員	（賛成多数）
事務局	山根委員に委員長をお願いする。

議事2 副委員長の選任について

委員長挨拶・副委員長の選任	
委員長	設置要綱第5条第3項で副委員長は委員長が選任すると定められている。中川委員にお願いしたいが、いかがか。
委員	（賛成多数）
委員長	副委員長は中川委員をお願いする。

議事3 委員会の公開について

委員長	本委員会は新しい特別支援学校の整備の方向性について様々な立場から県教育委員会に対して助言を行うことを目的としている。各委員から自由闊達に意見を出してもらうためには、会議は非公開とし、後日議事概要を公開する形が良いのではないかと考えるが、いかがか。
委員	異議なし
委員長	ご異議がないので会議は非公開とし、議事概要を後日公開することとする。

議事4 委員会で検討する内容、スケジュール等について

事務局説明	
・資料2 について事務局より説明	

議事 5 （仮称）奈良県立特別支援学校移転整備基本構想について

事務局説明	
・資料 3、4 について事務局より説明	
主な意見及び質疑応答	
委員	近畿他府県の特別支援学校を PTA 視察研修で見学したが、保護者駐車場の出入り口とスクールバス、事業所送迎車等の動線が分けてあり、混雑しないように工夫されていた。現学校では車の出入りで交差することがあるので、動線等のハード面について整備してほしい。
委員	奈良東養護学校と奈良西養護学校からは、新しい学校に転校する児童生徒もいることになり、環境が変わることが危惧される。不安な子どもたちへのケアを十分に行い、開校まで丁寧に進めていただきたい。
委員	肢体不自由の学校では医療的ケアを必要とする子どもが増えており、医療を必要とする子どもが在籍している。知肢病で一緒にできることと分けて学習することなど、配慮も必要であると思う。PTA の全国大会で他県の知肢併置校を視察したが、肢体不自由部門が 1 階、知的障害部門を 2 階に配置した上で中央に共用スペースが配置され、2 階建てのゆったりとした学校だった。新設する学校はブロック分けをするなど、どのような計画があるのか。また、現学校では、図書室の本を充実させるために PTA 文庫を設置して本を寄贈しているが、新しくなる学校には図書室の本を整備していただけるのか教えてほしい。
事務局	知肢病併置の学校となるので、例えば肢体不自由・病弱部門は 1 階、知的障害部門は 2 階を想定するなど、障害種別にゾーニングの検討を進めていきたいと考えている。必要な備品等については、今後具体的に検討していくことになる。
委員	アンケートまとめを見て、それぞれの立場での意見があることに気づきがあった。1 階と 2 階で分けるだけでいいのか等、児童生徒の実態に応じた施設やゾーニングなど、教職員や現場の声を反映させてほしい。
委員	病院跡地と東側駐車場跡地との間の道路について、地元にご理解いただくための説明はどのようになっているのか。
事務局	旧奈良総合医療センター跡地は、奈良養護学校移転が決定する前から「奈良県と奈良市とのまちづくりに関する包括協定」の対象地区になっており、まちづくり協議会のなかでも道路を広げてほしい等の要望は出ており、擁壁の解体、新設を含めて道路の拡幅を検討していることは地元へは説明している。
委員	奈良市で整備する部分と奈良県が整備する部分について、調整の進捗状況を教えていただきたい。

事務局	具体的にどのようなゾーニングにするかは現在調整中であるが、奈良県が特別支援学校を整備する上で必要な敷地面積（東側駐車場跡地も含めて）は、約 30,000 m ² であることは、奈良市との間で合意できている状況である。
委員	今後、奈良東養護学校と奈良西養護学校の校区の検討があると思うが、学校を変えたくないと思う保護者もいると思う。家庭にあわせて希望を聞きながら進められないか。
事務局	校区については、開校スケジュールとあわせて奈良東養護学校・奈良西養護学校の在籍数や推計等も見ながら検討していきたいと考えている。早い段階から保護者への周知も行っていきたいと考えている。
委員	開校までにはまだ時間がかかるので、保護者への丁寧な周知は必要だと思う。
委員	施設機能の整理に挙げられている諸室（案）は、確定ではないということで良いか。
事務局	教育委員会として考えられる必要な諸室を案として載せているが、委員の皆様からご意見をいただければと考えている。
委員	新しい学校を作るのに、保護者や子どもたちの不安をどのように解消していくのが大切である。昨年度までに、事務局と校長先生方で知肢併置校への視察をされていると思うが、中央に共有スペースを設置している学校や職業教育の充実を図れるよう施設整備を行っている学校など、学校によって特色は様々であると思う。全てを満たしていくことは難しいが、これから意見を拾ってもらえればと思う。
委員	インクルーシブをどのように進めていくのか。奈良県のインクルーシブ教育について考えていくことができればと思う。
委員	地域に開かれた学校、日頃から交流のある学校ができれば障害者理解にもつながると考える。地域の人が利用できる喫茶実習室の整備は良いと思った。
委員	PTA として、夢のある日本一の学校だと誇れる学校づくりができればと思う。
委員	視察に行かれた他府県の特別支援学校の情報や知的障害部門より肢体不自由部門の規模が大きい学校の事例もあれば教えていただきたい。
委員	現学校は校舎の配置がわかりにくく、避難経路などもわかりにくい。他府県の学校を視察して、フロアによって廊下の色を変えたり小学部 1 年生の教室の中にはトイレが設置してあったり、スムーズな支援につながるような工夫がされていた。
委員	昨年度までに、いろいろな意見をきいて構想にまとめていると感じる。今年度より、様々な立場の方に委員に入っていると思うので、昨年度までの土台をもとに、ハード面だけでなくソフト面も検討していければと思う。学校の意見も伝えていきたい。

委員長	検討委員会を重ねることで、新しい学校に向けたご意見をいただくことができると考えている。
-----	---

議事 6 新設する特別支援学校に関するアンケートまとめについて

事務局説明	
・資料 5 について、事務局より説明	
主な意見及び質疑応答	
委員	児童生徒によっては、意見の表出が難しい実態の子どももいる。子どもたちのニーズをどれだけ代弁できるかわからないが、伝えていきたい。
委員長	保護者や先生方の思いが詰まったアンケートである。先ほどの事務局からのアンケート結果説明はわかりやすかったので、資料としていただければ、今後検討委員会で素案を練っていく上で参考になる。
委員	今回アンケートをとっていただき、ありがたかった。今後も、意見をまとめていく上でアンケートを実施してほしい。
事務局	次回の検討委員会では、「資料 5 アンケートまとめ」の概要を配布させていただく。

議事 7 次回検討委員会で議論する内容について

事務局説明	
・資料 6 について、事務局より説明	
主な意見及び質疑応答について	
委員	次回に向けた意見は、各校の保護者意見をまとめるということか。
事務局	委員のご意見を聞かせていただききたい。
委員	例えば、PTA 役員会に共有して意見を挙げることは可能か。
事務局	かまわない。
委員	委員会の議事録は学校内で共有できるか。
事務局	議事概要として、HP に公開する。
委員	検討委員会を欠席する場合は、代理等の対応になるのか。
事務局	検討内容について事前にご意見を聞かせていただき、委員のご意見として検討委員会で報告させていただく。